



京都大学大学文書館所蔵



残しておきたいキャンパス風景 第三十二回  
「宇治キャンパス旧食堂棟」



現在は倉庫として利用されています

西部会館ルネ・キャリア&トラベル (外線) 771-6289 (内線) 7639	吉田ショップ 752-1587 7632	北部購買 753-7633 7633	南部生協会館 752-1586 7635	時計台生協ショップ 753-7630 7630	宇治生協会館 0774-38-4388 17-4388	桂ショップ 383-7300 15-7300
ブックセンタールネ 771-7336 7631	洋書 751-6183 7631	PCセンタールネ 753-7636 7636	コンベンション サービスセンター 753-7655 7655			

## 第35回 京都大学防災研究所 公開講座 「京都で育む 防災研究の新展開」(9/14)開催報告

防災研究所 後藤 浩之



京都大学防災研究所は、自然科学から人文・社会科学にわたる災害学理の追求と、防災学の構築に関する総合的研究・教育に取り組んでいます。このような基本理念のもと進められた総合的・実践的研究の一端を市民の方に学んでいただく機会として、公開講座を年に1度開催しています。今回は、「京都で育む防災研究の新展開」をテーマとし、防災研究所の取り組みの中でも京都にまつわる身近な防災の話題を中心としたプログラムとしました。まだ厳しい暑さの残る日でした

が、会場の宇治キャンパスきはだホールには125名の方が、また同時配信のオンライン会場には318名の方にお集まりいただきました。

午前最初のプログラムとして宮澤理稔教授に「京都府南部で身近に発生する地震」を講演いただきました。京都で感じる地震にはどのようなものがあったか、その発生場所や詳細なメカニズムについてお話しいただきました。2022年に亀岡市でM4クラスの地震が複数発生したことは記憶に新しいものですが、日本列島を東西に圧縮する力によるものと考えられることを説明いただきました。また最新の話題として、光ファイバーを利用した振動観測も紹介いただきました。



続いて林宏一教授に「物理探査とAIで見る京都盆地の地下構造」を講演いただきました。地下（地盤）を調べることの重要性とその方法についての話題です。地面に穴をあけずに土や岩の硬さを調べる方法のひとつである地震探査について、その仕組みを説明いただきました。また京都盆地は北側ほど基盤岩が浅く、巨椋池干拓地のあたりで深くなることを紹介いただきました。このような技術を使えば潮干狩りでアサリが干潟のどのような場所にいるかもわかる、という話は大変興味深いものでした。



午後は中谷加奈教授に「土石流災害のリスクを知る」と題して講演いただきました。土砂災害にはどのようなものがあるか説明いただいた上で、土石流のメカニズムと対策、そしてこれらに有効なシミュレーション技術について紹介いただきました。森林はプラスの面もあるが豪雨に対しては限定的であり、流木が発生するとともに土石流に混入すること、この流木対策として透過型の砂防堰堤が有効であることも、動画を交えながら解説していただきました。

続いては小林草平准教授に「底生動物から見た日本の河川の特徴と宇治川の特殊さ」を講演いただきました。底生動物とは、トビケラの幼虫のように水中よりも底で生活することを得意とする生き物で、トビケラを含めてカゲロウやカワゲラなど多様な生物が生息する河川は健全であることを紹介いただきました。底生動物の多様性のためには土砂が重要であり、いかに下流へ土砂を還元していくかが生物環境のために必要であることを詳しく説明いただきました。



最後は松田曜子准教授に「自らの命は自らが守るを問い直す」と題して講演いただきました。「自らの命を自ら守れる」人はどこにいるのだろうか？という問いかけから始まり、現在の避難情報に関するガイドラインが「自らの命は自らが守る」意識を持つことを前提にしていることへの疑問からお話しいただきました。人は他者と繋がりのあるものであること、相互支援や構造的な支援があることを前提として考える避難のあり方を、ケアの観点から考えたいとお話しいただきました。



その後、講演された5名の方に寄せられた質問を順番にご回答いただきました。会場から大変多くの質問が寄せられ、時間内に全てご対応することができない程でした。公開講座は年に一度の開催となりますが、防災研究所の研究成果に触れていただく機会として、10月に開催される京都大学宇治キャンパス公開や2月に開催する研究報告会講演会が予定されています。いずれも参加無料のイベントですので、興味ありましたらぜひご来場ください。

## 2024全国教職員セミナーを開催しました！

日時 2024年 8月30日(金) 31日(土)

会場 山形大学 ⇒ 台風のためOnline開催に変更

### 1 日目(30日(金))

#### ● 開会セレモニー

開会宣言	全国大学生協同組合連合会副会長理事 米山 高生氏
セミナー実行委員長 開催生協 挨拶	山形大学生協理事長 松坂 暢浩氏
開催ブロック教職員委員会 挨拶	福島大学 林 薫平氏
能登半島沖地震に関わる報告	石川工業高等専門学校 船戸 慶輔氏
関連団体報告①	大学生協奨学財団 全国大学生協同組合連合会 佐藤 智之氏
関連団体報告②	JUON NETWORK 鹿住 貴之氏
新設校紹介・挨拶	豊橋創造大学生協同組合理事長 朝元 尊氏

#### ● 全体企画「協同組合の原点に立ち返り大学生協を考える」

##### 第Ⅰテーマ：社会にとっての大学生協

全体企画解説 全国教職員副委員長 阪南大学 加賀美 太記氏

基調講演① 「地域の拠り所への挑戦—共立社の実践思想から学ぶ」 明治大学 大高 研道氏

基調講演② 「連帯社会の可能性と協同組合」 法政大学 伊丹 謙太郎氏

##### 第Ⅱテーマ：協同組合にとっての大学生協

報告① 「日本における地域生協と大学生協の関わりの歴史」 阪南大学 加賀美 太記氏

報告② 「農協を創ったのは誰か?—購買部(大学生協の前身)にかかわった学生と農協」 東京農工大学 佐藤 敬一氏

##### 第Ⅲテーマ：大学にとっての大学生協

報告③ 「学生とともに成長する大学生協をめざして」 弘前大学 山田 史生氏

報告④ 「学生院生組合員・教職員組合員から見た大学生協への期待」 豊橋創造大学 朝元 尊氏

報告⑤ 「大学との協同による大学らしさ作り」 全国大学生協同組合連合会専務理事 中森 一郎氏

問題提起 「設立趣意書が語る大学生協の原点」 全国教職員委員長 龍谷大学 只友 景士氏

### 2 日目(31日(土))

#### ● 分科会

分科会1 「これからの大学生の読書—どうなの、どうする?—」 座長 今山 稲子(京都大学)

分科会2 「協同組合と大学生協の原点から「食と安全」を考える」 座長 北見 宏介(名城大学)

分科会3 「昨今の国際情勢を踏まえた緊急企画」 座長 只友 景士(龍谷大学)

分科会4 「環境を守り防災を進める「頑健な」大学生協をめざして」 座長 横畑 泰志(富山大学)

## 大学生協全国教職員セミナーin山形について思うこと

教職員委員長 今山 稲子

去る8月30日～31日にかけて山形大学小白川キャンパスにて全国教職員セミナーin山形が開催されました、オンラインで。当初は実開催として全国各地の会員生協の組合員の皆さまに現地山形にてお集りいただき、セミナーでの学びはもちろんのこと、交流も深めていただく予定でしたが、生憎のノロノロ台風のために事務局は実開催を断念したとのことでした。

と、ここまで書いてナンですが、そもそも大半の組合員の皆さまは「全国教職員セミナー」とは何なのか、どういうことをするところなのか、ご存知ない、もしくはピンとこないのではないのでしょうか？私も初めて参加した三重大会の際は同様に思いました。私が全国教職員委員会に参加した頃は、このセミナーは4年に一度のオリンピック開催でした。けれど4年に一度となると、その4年の間に定年になられる方、異動で生協のない大学へ勤務される方など、知らない内にお目にかかることが出来なくなる可能性があるために2年に一度の隔年開催に変更されました。コロナ禍の最中では、横浜国大でのセミナーを延期して2022年の開催へ持ち込みました。大学生協連はとても大きな組織です。各会員生協は北海道、東北、東京、東海、関西北陸、中四国、九州のブロックに別れ、これらに所属する教職員組合員のメンバーが一堂に会して、様々な問題を話し合い、学ぶ場こそが全国教職員セミナーです。

私自身といえば、この全国教職員委員会の副委員長と、分科会「学びと成長、読書+α」の座長を勤めております。副委員長といっても取り立ててこれといった権限もなく、委員長のサポートといったところでしょうか。現在の委員長の進める「学会仕様」のセミナーにはうんざりなので、せめて自分の分科会だけは楽しく、学び合い、意見交換できる場でありたいと、横浜国大以降励んで参りました。周囲の教職員組合員の皆さんにもお声がけし、参加を募りました・・・それがまさかの「オンライン開催」！

台風による参加者の安全を図り、との理由でのオンライン開催の決定とのことですが、その決断は少し早め過ぎたと今でも思っています。オンライン開催の決定の時期には、既に山形行きチケットも入手済でしたし、後でわかったことですが、私がお声がけした組合員の方は、この決定の時には既に山形周辺に行っていたとのこと。本当に申し訳ないことをしてしまいました。この場をかりてお詫び申し上げます。

私も常々天気予報を見ていましたが、確かに東海地方は大雨で、新幹線も止まっていたましたが、同じ時期山形新幹線を含む東北、上越、北陸新幹線は通常運行されていました。おそらく東京、信州、新潟、北陸、東北、北海道の参加者は難なく山形入り出来たことでしょう。開催地である山形大学生協もそれなりの準備をしていたことと思われます。集まれる人だけでも集まって開催出来なかったのかと、ハイブリッド開催という手段は考慮出来なかったのかと今でも悔やまれてなりません。迂回路の提案もせず、安易にオンライン開催の決断を下した事務局に対して断固もの申します。

私もこの11月で65才になります。いよいよ京大の職も辞さねばならない年齢になりました。もちろん京大生協も、全国教職員委員会ともおさらばです。おさらばついでに今後を言わせてもらえば、日本は災害大国、今回の台風に限らず様々な自然現象に行動を制限されてしまう可能性は常にあります。全国教職員委員会はセミナーの開催について、今回のような場合を慮り、開催のガイドラインを用意する必要があるでしょう。いえ、なくてはなりません。

それにしても山形大学生協の、嫌味の無い商魂たくましさには感服いたしました。開催を見込んで清酒、シードルを多く仕入れていらしたそうですが、通販していただけたとのこと。私も早速、清酒、シードル、山大タオルマフラーを購入しました。清酒はとても美味、シードルはこれからです。その後メールで「ラフランスの購入予約始めました」を受け取り、またまたラフランスも購入予約しました。近江商人風と言えばさまに「三方良し」。こういう取り組み、京大生協でも出来ないものかな、とついつい思ってしまいます。11月に山形からラフランスの届くのが今から楽しみです。

## 久々の対面開催！大盛況のオープンキャンパスでした

2024年8月8日(木)、9日(金)で開催された、京都大学のオープンキャンパスは、2019年以来の対面開催となり、予想以上の多くの方が来校されました。

生協も各所で企画を実施し、来校された皆さんをお迎えいたしました。

### 01 資料配布

オープンキャンパスにお越しになった皆さんへ、大学発行の「京都大学オープンキャンパス 2024 ガイドマップ」と生協発行の「京大への道」を配布しました。



### 02 学生委員会企画

全学来場型になったことを受けて、大学と学生委員会が協力して「時計台企画」と「キャンパスツアー」を実施しました。前回の開催が2019年という事で、現在の学生委員会のメンバーにはこれまでのノウハウがない中でイチからの企画を立ち上げとなり、大変だったと思いますが、長い準備期間を経て、無事終わることができました。

どちらの企画も多くのご参加をいただき、大学の魅力をお伝える素晴らしい取り組みになりました。

### 03 個別相談ブース

時計台の2階では、大学各部署の相談コーナーに連なって「大学生活の相談ブース」を設けさせていただきました。かなりの遠方からお越しになっている方も多く、質問では、受験宿泊について(2次試験当日の宿泊斡旋)や、住まい探しや周辺環境についてがほとんどでした。遠方からお越しになる、受験生の不安にしっかり寄り添えたのではないのでしょうか。



## 京都に來れない方へ、各地でミニオープンキャンパスも開催！



8月の土曜日・日曜日は全国各地でminiオープンキャンパスが実施されました。京都大学の入試企画課さんにお声がけいただき、いっしょに、8月3日(土)-4日(日)品川、8月17日(土)-18日(日)名古屋を回りました(9月22日(日)-23日(月)は福岡での実施)。また、市ヶ谷で開催された「関西7大学フェスティバル」にも生協で唯一参加しました！



## 11月祭【 November Festival 】 応援企画 山一パン選定会

11月に実施を予定している11月祭（NF）応援企画として、山一パンの選定会を9月11日（水）に開催しました。企画の商品を学生ミールシステムユーザーが試食し、10商品の中から対象とする4商品を選定します。

当日は1回生から院生までのミールシステムユーザー15名が、黙々と切り分けられたパンを味わいながら、点数と感想をつけてくれました。

商品のラインナップは、以下の10商品でした。



山一試食・選定会ポスター



- |               |                |
|---------------|----------------|
| ① ゴーダチーズとベーコン | ⑥ もっちりチョコ      |
| ② ピザパン        | ⑦ さくさくメロンパン    |
| ③ まんぞくカレーパン   | ⑧ さくさくクッキーレーズン |
| ④ あらびきソーセージ   | ⑨ さくさく三角ショコラ   |
| ⑤ ベーコンチーズ     | ⑩ 京風メロン        |



選定会の感想として、

いつもは手を出さないパンを試食出来て、よかった

いろんなパンを少しずつ食べる事はあまりないので、食べ比べ出来て楽しかった

今回、そのおいしさに初めて気づいたパンもあったので、ぜひまた次の機会も参加したいです

という声をいただき、企画に手ごたえを感じています。今後も手を変え品を変え、企画検討してまいります。

今後どんなパンが欲しいか？のアンケートには、

せっかく京都の大学なので、京都らしいパンが欲しい

昼間に安くてがっつりいけるようなパンが欲しい

との意見がありました。

その他意見として、ルネの近くにパンなどを販売する店舗があれば。。。という意見もありました。



今年のポスター



### 「宇治キャンパス」おうばく秋祭り 開催します!

食堂では、アルコールの販売に加えて、サラダバーが1日限定復活！この機会に野菜もしっかりとりましょう！

#### 購買ではなくじ引き開催!

お買い物レシート合計500円ごとにくじ引きを1回できます。

(500円以上のレシート1枚でも1回、複数枚で500円になるレシートでもOK)



#### 景品

**1等** 総長カレー3個+ 総長カレートートバッグ1個

**2等** エレメンタッチ マグカップ

**3等** 宇治食堂限定 「小鉢20円引チケット」



## 学童保育所 京都大学キッズコミュニティ (KuSuKu) のご案内

京都大学では、教職員・学生の子育て支援を目的に、学童保育所 京都大学キッズコミュニティKuSuKuを設置しています。

KuSuKuでは、次世代を担う子どもの育成を目的に、遊びと学びを触発する多様な活動空間と、本学の研究者・元教員、学外の研究者等が講師として参加し、小学生に本学の研究者やその研究フィールドに触れてもらうアカデミックプログラムを提供しています。



KuSuKu でぜひ、子どもたちに心に残るアカデミックな体験をさせてみませんか。

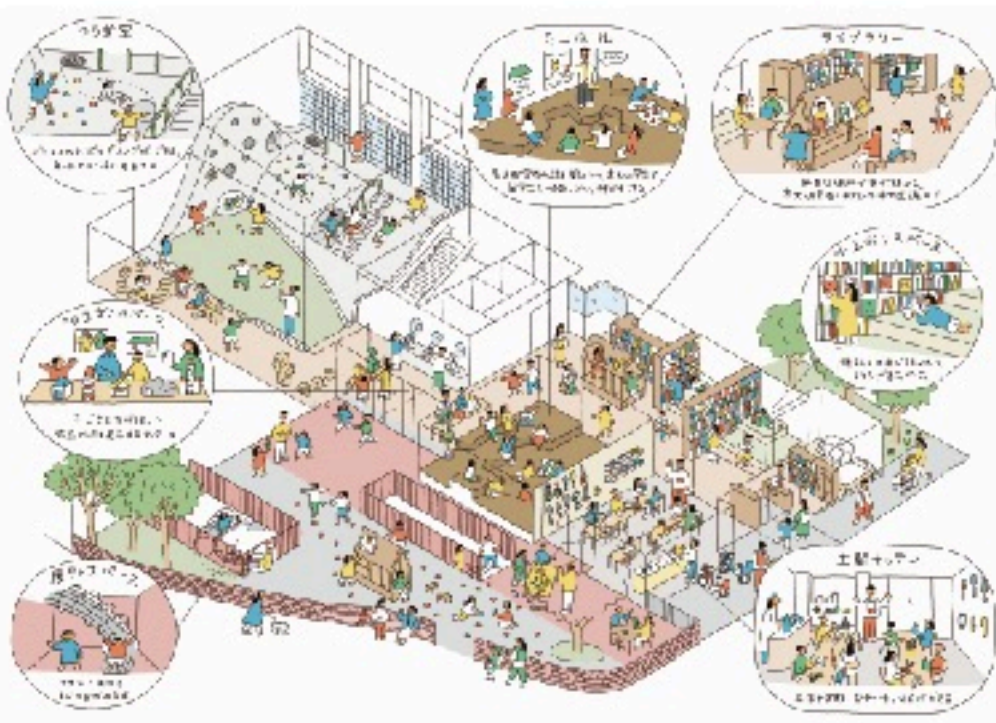


本学の教職員（派遣職員含む）及び学生（正規生）であればどなたでも、1日のみの利用から気軽に申込みできます。

また、利用の理由は問いません。業務の都合で子どもを預けざるを得ない方はもちろんのこと、小学校が休みの日に子どもに有意義な体験をさせたい方など、積極的にご活用ください。



### 遊びと学びを触発する様々なエリアとそれらを回遊する空間



ライブラリー



小上がりスペース



ミニホール



土間キッチン



遊戯室



屋外すべり台



京都大学の教員で構成する委員会において、教育学、脳科学等の観点から企画された教育プログラムを提供

### 利用のご案内

現在、11月までのプログラムをKuSuKuのWebサイトで掲載しています。12月以降のプログラムは、11月頃に公開予定です。



#### 【事前登録がお済の方】

利用予約システムにログインの上ご予約をお願いします。

#### 【事前登録がお済でない方】

パソナフォスターWebサイトにて事前登録後、利用予約システムにログインの上ご予約をお願いします。



申込状況は右記のQRコードを読み取り、サイトからご覧ください。

